令和 8 年度　　工　事　仕　様　書

工　事　名	整備事業第8-2号　消火栓設置工事
工　事　場　所	草加市　旭町二・六丁目　地内
路 河 川 名 称	市道11315号線　他1路線
工　事　番　号	5-08-1002
工 事 大 要	

地下式消火栓（単口）　　φ75　　2.0基

舗装復旧面積　　19.2㎡

草加市

変更理由

備　　考

地　区	県南(越谷県土整備)	労務費補正	1.02	機械経費(賃料)補正	1.00

単価適用年月	令和08年09月01日付 公共				
工　　期	当初	自	契約締結日	至	90日間
		日数			
	変更			至	
経費適用年月	上水道 令和07年度				
主たる工種	開削工事及び小口径推進工事等				
施工地域	大都市				

		当　初　金　額	変　更　金　額
設　　計	工 事 価 格		
	消費税相当額		
	合　　計		
	設 計 増 減 額		
請　　負	工 事 価 格		
	消費税相当額		
	合　　計		
	請 負 増 減 額		
週休２日区分	完全週休2日(土日)補正		

草加市

整備事業第8-2号　消火栓設置工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基準
開削工事及び小口径推進工事等	1	式			
消火栓工	1	式			
材料 消火栓工	1	式			明　1 号
管工 消火栓工	1	式			明　2 号
土工 消火栓工	1	式			明　3 号
仮設工	1	式			
水替工 仮設工	1	式			明　4 号
土留工 仮設工	1	式			明　5 号
本復旧工	1	式			
本復旧工	1	式			明　6 号
交通誘導警備員	1	式			
交通誘導警備員	1	式			明　7 号
直接工事費計					
共通仮設費計	1	式			

草加市

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基準
共通仮設費(積上げ)	1	式			
運搬費	1	式			
仮設材等の運搬(１車１回)往復 製品長12m以内 片道運搬距離10km 割増なし	0.356	t			代 30 号
仮設材等の積込み･取卸し費 基地積込→現場→基地取卸	0.356	t			代 31 号
技術管理費	1	式			
★土壌分析試験費 六価ｸﾛﾑ溶出試験〔配合設計時〕	1	検体			
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			
純工事費	1	式			
現場管理費	1	式			
工事原価	1	式			
一般管理費等	1	式			
工事価格	1	式			
消費税等相当額	1	式			

草加市

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基準
合計					

草加市

第　1 号 明細書　　材料 消火栓工

1　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
不断水割T字管 V(鋳鉄用) φ100×φ75(FCD)	2	組			管
SUS製密着ｺｱ φ75	2	個			管
FCD補修弁(浅層埋設型) φ75×100・ﾎﾞｰﾙ式	2	基			管
FCD地下式単口消火栓(浅層埋設型) φ75・ﾎﾞｰﾙ式	2	基			管
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(7.5K･緩み防止ﾅｯﾄ付) ﾌﾗﾝｼﾞ結合補強具φ75	2	組			管
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材 (RF7.5K) φ75(SUS304)	2	組			管
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材 (GF7.5K) φ75(SUS304)	1	組			管
DIP ﾌﾗﾝｼﾞ短管 φ75×500 (7.5K)	1	個			管
計					

草加市

第　2 号 明細書

管工 消火栓工

1　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
不断水連絡 φ100×φ75	2	箇所			代　1 号
SUS製密着ｺｱ挿入費 φ75	2	箇所			
フランジ継手 呼び径75(80)mm 鋳鉄管:JWWA 7.5K	3	ロ			代　2 号
消火栓設置 機械施工 地下式 単口	2	箇所			代　3 号
消火栓室設置工（材工共） 浅層埋設用（高さ調整対応型）	1	箇所			B　1 号
消火栓室設置工（材工共） 浅層埋設用（高さ調整対応型）	1	箇所			B　2 号
ポリエチレンスリーブ被覆 呼び径100mm 管長4m 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ	2	m			代　4 号
計					

草加市

第　3 号 明細書　　土工 消火栓工

(　　,　　)　　1　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	8.4	m			P　1 号
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ 山積0.13m3	3.9	m2			代　5 号
小型バックホウ掘削積込 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10)	2.4	m3			代　6 号
管土工（人力+BH山積0.13m3） レキ・砂・砂質・粘性土	2.5	m3			B　3 号
アスファルト舗装工(人力)(車道･路肩)(1層) 舗装厚50mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)（小口） t≦50mm	3.5	m2			代　7 号
路盤工(施工幅1.8m未満)(2層施工) 上層路盤 仕上り厚0.20m 再生粒調砕石 40～0mm	3.5	m2			B　4 号
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.19m 再生切込砕石 40～0mm	3.5	m2			代　8 号
管路埋戻費(機械埋戻･小型バックホウ) 再生砂 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3 埋戻し+締固め	3.3	m3			代　9 号
発生土処理 片道運搬距離2.0km 2ｔ車(ﾘｻｲｸﾙ処分)	4.9	m3			代　10 号
アスファルト塊･コンクリート塊(無筋)処理 片道運搬距離3.5km	0.2	m3			代　11 号
アスファルト切断濁水処分費 中間処理後､最終処分場に搬入 処理に焼却含まず	0.03	m3			処
アスファルト切断濁水運搬費 積載量2t 運搬距離 10kmまで	1	台			
計					

草加市

第　4 号 明細書　　水替工 仮設工

1　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
ポンプ運転工 作業時排水 発動発電機 ポンプ1台		日			D　1 号
据付･撤去工	2	現場			D　2 号
計					

草加市

第　5 号 明細書　　土留工 仮設工

1　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.0m以下	1.4	m			代 12 号
軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 2.0m以下	1.4	m			代 13 号
支保工(軽量金属製)設置撤去 1段 2.0m以下 軽量金属 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	1.4	m			代 14 号
矢板 金属支保材等賃料 ｱﾙﾐ腹起、水圧ｻﾎﾟｰﾄ、ﾎﾟﾝﾌﾟ、軽量Ⅱ型	1	式			
計					

草加市

第　6 号 明細書　　本復旧工

(　　,　　)　　1　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	16.5	m			P　1 号
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ 山積0.13m3	19.2	m2			代　5 号
小型バックホウ掘削積込 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10)	0.2	m3			代　6 号
表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満) 平均幅員1.4m未満 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	15.7	m2			P　2 号
表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満) 平均幅員1.4m未満 ﾀｯｸｺｰﾄ	3.5	m2			P　3 号
基層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満) 平均幅員1.4m未満 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	3.5	m2			P　4 号
不陸整正工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 整正厚0.04m 再生粒調砕石 40～0mm	15.7	m2			代 15 号
不陸整正工 幅1.8m未満　補足材なし	3.5	m2			B　5 号
発生土処理 片道運搬距離2.0km 2ｔ車(ﾘｻｲｸﾙ処分)	0.2	m3			代 10 号
アスファルト塊･コンクリート塊(無筋)処理 片道運搬距離3.5km	1	m3			代 11 号
区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 黄 鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰ 昼間 時間制約無	6.8	m			代 16 号
計					

草加市

第　7 号 明細書　　交通誘導警備員

1　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
交通誘導警備員Ｂ		人			完全週休2日(土日)補正
計					

草加市

第　1 号 B代価　　消火栓室設置工（材工共）　浅層埋設用（高さ調整対応型）

1　　箇所 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
ﾚｼﾞｺﾝ消火栓室用鉄蓋 食込制御型 T-25	1	組			
消火栓室用型枠	1	回			
ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ(高さ調整対応型) A-200 φ500	1	個			
ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ(高さ調整対応型) C-300 φ500	1	個			
底板(高さ調整対応型ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ用) 40S φ500	1	個			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ 25kg袋	0.4	袋			
高さ調整用ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ M16×L=75(高さ調整駒含)	1	組			
鉄蓋設置 円形 3号 寸法500mm	1	個			代 18 号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号上部壁 内寸500 高200	1	個			代 19 号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号下部壁 内寸500 高300	1	個			代 20 号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号底版 内寸500 高40	1	個			代 21 号
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					

草加市

第　2 号 B代価　　消火栓室設置工（材工共）　浅層埋設用（高さ調整対応型）

1　　箇所 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
ﾚｼﾞｺﾝ消火栓室用鉄蓋 食込制御型 T-25	1	組			
消火栓室用型枠	1	回			
ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ(高さ調整対応型) A-200 φ500	1	個			
ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ(高さ調整対応型) C-200 φ500	1	個			
底板(高さ調整対応型ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ用) 40S φ500	1	個			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ 25kg袋	0.4	袋			
高さ調整用ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ M16×L=75(高さ調整駒含)	1	組			
鉄蓋設置 円形 3号 寸法500mm	1	個			代 18 号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号上部壁 内寸500 高200	1	個			代 19 号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号下部壁 内寸500 高200	1	個			代 22 号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号底版 内寸500 高40	1	個			代 21 号
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					

草加市

第　3 号 B代価　　管土工（人力+BH山積0.13m3）　レキ・砂・砂質・粘性土

1　m3 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
小型バックホウ掘削積込 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10)	0.5	m3			代　6 号
床掘り 土砂 現場制約あり	0.5	m3			P　5 号
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					

草加市

第　4 号 B代価　　路盤工(施工幅1.8m未満)(2層施工) 上層路盤 仕上り厚0.20m
(再生粒調砕石 40～0mm ,　　)

100　m2 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
★再生粒度調整砕石 RM-40	25.4	m3			
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			代 26 号
諸 雑 費 (丸め)	1	式			
計					
単位当たり					

草加市

第　5 号 B代価　　不陸整正工 幅1.8m未満　補足材なし

100　m2 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			代　26 号
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					

第　1 号 D代価　　ポンプ運転工 作業時排水 発動発電機
(ポンプ1台　　,　　)

1　日 当り

名　称・規　格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
工事用水中モータポンプ普通型(潜水ポンプ) 口径φ50mm 全揚程5m 0.4kW		日			
発動発電機 ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ駆動 3KVA		日			
諸 雑 費　(率＋丸め) 労務費･機械損料の％		％			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 2　排水方法･動力源 作業時排水 発動発電機 [C] = 1　発動発電機規格 ｶﾞｿﾘﾝ 3kVA			[B] = 1.000　台 [X] = 1	ﾎﾟﾝﾌﾟ台数 発動発電機規格区分 普通型	

草加市

第　2 号 D代価　　据付･撤去工

1　　現場 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					

第　1 号 代価表

不断水連絡　φ100×φ75

1　　箇所 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
配管工		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
不断水穿孔機損料 φ75		日			
諸　雑　費　(率＋丸め) 労務費の%		%			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 6　本管呼び径×取出呼び径　φ100×φ75					

草加市

第　2 号 代価表

フランジ継手 呼び径75(80)mm
(鋳鉄管:JWWA 7.5K　　,　　)

1　　口 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
配管工		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
諸　雑　費　(率＋丸め) 労務費の%		%			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 2　呼び径区分 呼び径75(80)mm [D] = 3　耐震型補強金具設置区分 耐震型補強金具設置なし [C] = 2　ﾎﾞﾙﾄ計上区分 ﾎﾞﾙﾄ計上しない			[B] = 1　規格区分 鋳鉄管:JWWA 7.5K [F] = 0.000　本　取替ﾎﾞﾙﾄ数		

草加市

第　3 号 代価表

消火栓設置 機械施工　地下式 単口

1　　箇所 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
配管工		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
クレーン装置付トラック運転 ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.9t吊		時間			代　17 号
諸　雑　費　(率＋丸め) 労務費の%		%			
計					
単位当たり					
[条件] [C] = 1　作業区分 設置 [B] = 1　施工区分 機械施工			[A] = 1　消火栓区分 地下式 単口		

草加市

第　4 号 代価表

ポリエチレンスリーブ被覆 呼び径100mm 管長4m
(固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ　　,　　)

100　　m 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
配管工		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ100	125	m			
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ用　固定ﾊﾞﾝﾄﾞ φ100	175	個			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 3　呼び径･管長区分 呼び径100mm 管長4m [C] = 0.000　ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞの割増係数			[B] = 1　固定具区分 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ [D] = 0.000　固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞの割増係数		
[E] = 1　ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ計上区分 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ計上する [F] = 1　固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ計上区分 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ計上する			[G] = 2　粘着ﾃｰﾌﾟ計上区分 粘着ﾃｰﾌﾟ計上しない		

草加市

第　5 号 代価表

小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下
(ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ 山積0.13m3,　　)

100　　m2 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
土木一般世話役		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
小型バックホウ運転 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10) 排対型:2次基準		日			代　23 号
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1　舗装厚 舗装厚0cm超え10cm以下 [X] = 3　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格区分 排対型:2次基準			[B] = 2　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10)		

草加市

第　6 号 代価表

小型バックホウ掘削積込 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10)

100　　m3 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
土木一般世話役		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
小型バックホウ運転 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10) 排対型:2次基準		日			代　23 号
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 2　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10)			[X] = 3　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格区分 排対型:2次基準		

草加市

第　7 号 代価表	アスファルト舗装工(人力)(車道･路肩)(1層) 舗装厚50mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) (小口) (t≦50mm　　,　　) 100　m2 当り				
名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
土木一般世話役		人			完全週休2日(土日)補正
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度AS混合物(13)、小口	12.573	t			
振動ローラ運転 (舗装用)ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式0.5～0.6t		日			代　24 号
振動コンパクタ運転(前進型) 40～60kg		日			代　25 号
諸　雑　費　(率＋丸め) 労務､損料､運転経費の％		％			
計					
単位当たり					
[条件] [B] = 1　1層当り仕上り厚 t≦50mm [C] = 1　歩車道区分 車道及び路肩 [E] = 7　瀝青材区分 瀝青材散布 無 [G] = 2.350　t/m3　締固め後密度			[A] = 50.000　mm　舗装厚 [D] = 2　瀝青材散布区分 瀝青材散布 無 [F] = 12　ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) [H] = 1　砂散布の有無 砂散布 無		

草加市

第　8 号 代価表

路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.19m
(再生切込砕石 40～0mm　,　　)

100　　m2 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
★再生クラッシャーラン RC-40	24.13	m3			
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			代　26 号
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [C] = 1　上層･下層路盤区分 下層路盤 [y1] = 3　路盤材区分 再生切込砕石 40～0mm			[A] = 0.190　m		仕上り厚

草加市

第　9 号 代価表

管路埋戻費(機械埋戻･小型バックホウ) 再生砂
(ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3　　,埋戻し+締固め　　)

100　　m3 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
土木一般世話役		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員 埋戻し+締固め		人			完全週休2日(土日)補正
小型バックホウ運転 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10) 排対型:2次基準		日			代　23 号
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			代　27 号
★砂 再生	126	m3			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [C] = 1　施工区分 埋戻＋締固め [A] = 126.000　m3　埋戻材数量 [X] = 3　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格区分 排対型:2次基準			[DS] = 12　埋戻土区分 再生砂 [B] = 2　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10)		

草加市

第　10 号 代価表

発生土処理 片道運搬距離2.0km 2ｔ車(ﾘｻｲｸﾙ処分)

(　　,　　)　　1　m3 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
発生土運搬費 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級 運搬距離2km DID区間有り 小型BH ｸﾛｰﾗ 山積0.13m3	1	m3			代 28 号
建設発生土受入費（石灰） （第1～第3種建設発生土） 地山	1	m3			処
諸 雑 費 （丸め）	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1.000 m3 運搬費数量 [a] = 1 運搬機種･規格 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級 [c] = 2 DID区間の有無 DID区間有り [e] = 2 ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3			[B] = 1.000 m3 処分費数量 [b] = 2.000 km 片道運搬距離 [d] = 1 ﾀｲﾔ損耗費 〔良好〕		

草加市

第　11 号 代価表

アスファルト塊･コンクリート塊(無筋)処理 片道運搬距離3.5km

(　　,　　)　　1　m3 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊(無筋)運搬費 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級 運搬距離3.5km DID区間有り 小型BH ｸﾛｰﾗ 山積0.13m3	1	m3			代 29 号
廃材持込料 As廃材 越谷県土整備事務所	2.35	t			処
諸 雑 費 (丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1.000 m3 運搬費数量 [a] = 1 運搬機種･規格 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級			[B] = 2.350 m3 [b] = 3.500 km		処分費数量 片道運搬距離
[c] = 2 DID区間の有無 DID区間有り [e] = 2 ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3			[d] = 1 ﾀｲﾔ損耗費 {良好} [f] = 1 処理対象区分		As塊･Co塊(無筋)

草加市

第　12 号 代価表

軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.0m以下

100　　m 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
土木一般世話役		人			完全週休2日(土日)補正
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
小型バックホウ運転 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10) 排対型:2次基準		日			代　23 号
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 2　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10) [X] = 3　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格区分 排対型:2次基準			[B] = 2　掘削深 2.0m以下		

草加市

第　13 号 代価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 2.0m以下

100　　m 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
土木一般世話役		人			完全週休2日(土日)補正
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
★トラッククレーン[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 4.9t吊		日			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 2　掘削深 2.0m以下			[B] = 1　機械区分 ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ賃料		

草加市

第　14 号 代価表

支保工(軽量金属製)設置撤去　1段 2.0m以下
(軽量金属　　,水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ　　)

100　　m 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
土木一般世話役		人			完全週休2日(土日)補正
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1　設置段数･掘削深 1段 2.0m以下 [C] = 1　切梁材区分 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ			[B] = 1　腹起し材区分 軽量金属 [D] = 3　作業区分 設置撤去		

草加市

第　15 号 代価表

不陸整正工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 整正厚0.04m
(再生粒調砕石 40～0mm　,　　)

100　　m2 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
★再生粒度調整砕石 RM-40	5.08	m3			
タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg		日			代　26 号
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [y1] = 6　路盤材区分 再生粒調砕石 40～0mm			[A] = 0.040　m		整正厚

草加市

第　16 号 代価表

区画線設置 溶融式手動 実線 15cm　塗布厚1.5mm 黄 鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰ
(昼間 時間制約無　　,　　)

1,000　　m 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
★区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	1,000	m			完全週休2日(土日)補正
★トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15～18 黄 鉛･フリー	570	kg			
★ガラスビーズ 0.106～0.850mm	25	kg			
★接着用プライマー 区画線用	25	kg			
★軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		l			
諸　雑　費　(率＋丸め) 材料費の％		%			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 2　夜間作業の有無 夜間作業無 [C] = 1　規格･仕様区分 実線 15cm			[B] = 1　施工方法区分 溶融式手動 [D] = 3　時間的制約の有無 時間制約無		
[E] = 1　塗布厚 塗布厚1.5mm [F] = 1　排水性舗装に施工する場合の補正 排水性舗装補正無 [H] = 1　溶融式塗料規格 含有量15～18% [Q] = 1　塗料計上区分 塗料計上する			[G] = 1　未供用区間の場合の補正 未供用区間補正無 [I] = 3　ﾍﾟｲﾝﾄ式塗料規格 溶融式の場合 [J] = 2　塗料区分 黄 鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰ		
[L] = 0.000　kg・l　塗料使用量 [K] = 1　ﾌﾟﾗｲﾏｰ規格 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装 [S] = 1　ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ計上区分 ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ計上する [U] = 1　軽油計上区分 軽油計上する			[R] = 1　ﾌﾟﾗｲﾏｰ計上区分 ﾌﾟﾗｲﾏｰ計上する [N] = 0.000　kg　ﾌﾟﾗｲﾏｰ使用量 [M] = 0.000　kg　ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ使用量 [P] = 0.000　l　軽油使用量		
[V] = 1　費用の内訳 全ての費用					

草加市

第　17 号 代価表

クレーン装置付トラック運転 ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.9t吊

1　　時間 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
運転手(特殊)		人			完全週休2日(土日)補正
★軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		l			
トラック[ｸﾚｰﾝ装置付] ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 吊能力2.9t		時間			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 5　ﾄﾗｯｸ規格 4～4.5t積 2.9t吊			[T] = 0.000　時間		運転日当り運転時間

草加市

第　18 号 代価表

鉄蓋設置　円形 3号 寸法500mm

1　個 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [C] = 1　施工区分 設置 [B] = 2　無収縮ﾓﾙﾀﾙ計上区分 無収縮ﾓﾙﾀﾙ計上しない			[A] = 3	種類･寸法 円形 3号 寸法500mm	

第　19 号 代価表

レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号上部壁 内寸500 高200

1　個 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [B] = 1　施工区分 設置 [A] = 20　種類･内寸(mm)･高さ(mm) 3号上部壁 内寸500 高200					

草加市

第　20 号 代価表

レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号下部壁 内寸500 高300

1　　個 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [B] = 1　施工区分 設置 [A] = 25　種類･内寸(mm)･高さ(mm) 3号下部壁 内寸500 高300					

草加市

第　21 号 代価表

レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号底版 内寸500 高40

1　個 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [B] = 1　施工区分 設置			[A] = 27	種類･内寸(mm)･高さ(mm) 3号底版 内寸500 高40	

草加市

第　22 号 代価表

レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 3号下部壁 内寸500 高200

1　個 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
普通作業員		人			完全週休2日(土日)補正
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [B] = 1　施工区分 設置 [A] = 24　種類･内寸(mm)･高さ(mm) 3号下部壁 内寸500 高200					

草加市

第　23 号 代価表

小型バックホウ運転 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10)
(排対型:2次基準　　,　　)

1　　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
運転手(特殊)		人			完全週休2日(土日)補正
★軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		l			
小型バックホウ 排対型:2次基準 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10m3)		供用日			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 2　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3(平積0.10) [X] = 3　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格区分 排対型:2次基準			[GH] = 1　岩石補正 {損料補正なし}		

草加市

第　24 号 代価表

振動ローラ運転（舗装用）ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式0.5～0.6t

1　　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
特殊作業員		人			完全週休2日（土日）補正
★軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		l			
振動ローラ（舗装用） ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 運転質量0.5～0.6ｔ		供用日			
諸　雑　費　（丸め）	1	式			
計					
単位当たり					
［条件］ ［A］＝ 1　振動ﾛｰﾗ規格 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式0.5～0.6t					

第　25 号 代価表

振動コンパクタ運転(前進型) 40～60kg

1　　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
★ガソリン ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ価格		1			
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg		供用日			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1　振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ規格 40～60kg					

草加市

第　26 号 代価表

タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg

1　　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
★ガソリン ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ価格		1			
★タンパ及びランマ 質量 60～80kg		供用日			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1　ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ規格 60～80kg					

草加市

第　27 号 代価表

タンパ及びランマ運転(賃料) 60～80kg

1　　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
特殊作業員		人			完全週休2日(土日)補正
★ガソリン ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ価格		1			
★タンパ及びランマ 質量 60～80kg		供用日			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1　ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ規格 60～80kg					

草加市

第　28 号 代価表

発生土運搬費 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級 運搬距離2km
(DID区間有り　　,小型BH ｸﾛｰﾗ 山積0.13m3)

10　　m3 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
ダンプトラック運転 ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 2t積級 ﾀｲﾔ損耗状態		日			代　32 号
諸　雑　費　（丸め）	1	式			
計					
単位当たり					
［条件］ ［A］＝ 1　運搬機種･規格 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級 ［C］＝ 2　DID区間の有無 DID区間有り ［D］＝ 2　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3			［B］＝ 2.000　km　片道運搬距離 ［a］＝ 1　ﾀｲﾔ損耗費 {良好} ［E］＝ 1　処理対象区分 土砂		

草加市

第　29 号 代価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ塊･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊(無筋)運搬費 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級 運搬距離3.5km
(DID区間有り　　,小型BH ｸﾛｰﾗ 山積0.13m3)

10　　m3 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
ダンプトラック運転 ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 2t積級 ﾀｲﾔ損耗状態		日			代　32 号
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1　運搬機種･規格 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2t積級 [C] = 2　DID区間の有無 DID区間有り [D] = 2　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 ｸﾛｰﾗ型 山積0.13m3			[B] = 3.500　km　片道運搬距離 [a] = 1　ﾀｲﾔ損耗費 {良好} [E] = 2　処理対象区分 As塊･Co塊(無筋)		

草加市

第　30 号 代価表

仮設材等の運搬(１車１回)往復 製品長12m以内 片道運搬距離10km
(割増なし　　,　　)

1　　t 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
トラック運賃	1	t			
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1　製品長 12m以内 [C] = 1　運賃割増区分 割増なし			[B] = 10.000　km [D] = 0.000		片道運搬距離 運賃割増率
[F] = 2　計上区分 往復					

草加市

第　31 号 代価表

仮設材等の積込み･取卸し費 基地積込→現場→基地取卸

1　　t 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
仮設材積込み・取卸し費 往復 積込2回＋取卸2回	1	t			
諸 雑 費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 5　施工区分 基地積込→現場→基地取卸					

草加市

第　32 号 代価表

ダンプトラック運転 ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 2t積級
(ﾀｲﾔ損耗状態　　,　　)

1　　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号 基　準
運転手(一般)		人			完全週休2日(土日)補正
★軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		l			
ダンプトラック ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ ２ｔ積級		供用日			
タイヤ損耗費 2～3ｔ 良好		供用日			
諸　雑　費　(丸め)	1	式			
計					
単位当たり					
[条件] [A] = 1　ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ規格 2t積級 [GH] = 1　岩石補正 {損料補正なし}			[B] = 1　ﾀｲﾔ損耗費 {良好}		

草加市

第　1 号 施工パッケージ　　舗装版切断　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下

1　　m 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基　準
【機械】			15.05			
コンクリートカッタ[ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式] 径φ56cm 切削深20cm級 超低騒音型			10.24			
その他(機械)						
【労務】			58.43			
特殊作業員			19.96			完全週休2日(土日)補正
土木一般世話役			10.88			完全週休2日(土日)補正
普通作業員			8.92			完全週休2日(土日)補正
その他(労務)						
【材料】			26.52			
★コンクリートカッタ　(ブレード) 径18ｲﾝﾁ			22.39			
★ガソリン ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ価格			2.81			
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 1　舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 [J5] = 1　費用の内訳 全ての費用				[J2] = 1　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚 15cm以下		

草加市

第　2 号 施工パッケージ　表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)
(平均幅員1.4m未満　,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ　)　1　m2 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基　準
【機械】			0.43			
振動ローラ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 運転質量0.5～0.6ｔ			0.24			
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg			0.13			
その他(機械)						
【労務】			44.34			
特殊作業員			19.57			完全週休2日(土日)補正
普通作業員			14.05			完全週休2日(土日)補正
土木一般世話役			4.28			完全週休2日(土日)補正
その他(労務)						
【材料】			55.23			
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度AS混合物(13)、小口			50.52			
★アスファルト乳剤 PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用			4.48			
★ガソリン ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ価格			0.17			
★軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			0.03			

第　2 号 施工パッケージ　表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)
（続　き）　(平均幅員1.4m未満　,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ　)　1　m2 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基　準
その他(材料)						
【端数調整】						
［条件］ ［J2］= 50.000　mm　1層当り平均仕上り厚 ［A1］= 35　材料 ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)				［J1］= 1　平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下 ［J4］= 3　瀝青材料種類 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3		
［J6］= 1　費用の内訳 全ての費用						

草加市

第　3 号 施工パッケージ　表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)
(平均幅員1.4m未満　,ﾀｯｸｺｰﾄ　)　1　m2 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基　準
【機械】			0.45			
振動ローラ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 運転質量0.5～0.6ｔ			0.25			
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg			0.14			
その他(機械)						
【労務】			45.70			
特殊作業員			20.17			完全週休2日(土日)補正
普通作業員			14.48			完全週休2日(土日)補正
土木一般世話役			4.41			完全週休2日(土日)補正
その他(労務)						
【材料】			53.85			
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度AS混合物(13)、小口			52.05			
★アスファルト乳剤 PK-4 ﾀｯｸｺｰﾄ用			1.57			
★ガソリン ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ価格			0.17			
★軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			0.03			

草加市

第　3 号 施工パッケージ　表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)
（続　き）　(平均幅員1.4m未満　,ﾀｯｸｺｰﾄ　)　1　m2 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基　準
その他(材料)						
【端数調整】						
［条件］ ［J2］= 50.000　mm　1層当り平均仕上り厚 ［A1］= 35　材料 ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)				［J1］= 1　平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下 ［J4］= 1　瀝青材料種類 ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4		
［J6］= 1　費用の内訳 全ての費用						

第　4 号 施工パッケージ　　基層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)
(平均幅員1.4m未満　　,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ　　)　　1　m2 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基　準
【機械】			0.49			
振動ローラ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 運転質量0.5～0.6ｔ			0.27			
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg			0.15			
その他(機械)						
【労務】			49.04			
特殊作業員			21.64			完全週休2日(土日)補正
普通作業員			15.54			完全週休2日(土日)補正
土木一般世話役			4.74			完全週休2日(土日)補正
その他(労務)						
【材料】			50.47			
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生粗粒度AS混合物(20)、小口			45.26			
★アスファルト乳剤 PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用			4.96			
★ガソリン ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ価格			0.18			
★軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			0.04			

第　4 号 施工パッケージ　基層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚50mm ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)
（続　き）　(平均幅員1.4m未満　,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ　)　1　m2 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基　準
その他(材料)						
【端数調整】						
［条件］ ［J2］= 50.000　mm　1層当り平均仕上り厚 ［A1］= 35　材料 ｱｽｺﾝ各種(2.30以上2.40t/m3未満)				［J1］= 1　平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下 ［J4］= 3　瀝青材料種類 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3		
［J6］= 1　費用の内訳 全ての費用						

第　5 号 施工パッケージ　　床掘り　土砂 現場制約あり

1　　m3 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基　準
【労務】			100.00			
普通作業員			100.00			完全週休2日(土日)補正
【端数調整】						
［条件］ ［J1］= 1　土質 土砂 ［J5］= 1　費用の内訳 全ての費用				［J2］= 6　施工方法 現場制約あり		

草加市

工 事 仕 様 書

［共通］

1　適用

本工事は、「草加市水道工事標準仕様書」「水道工事標準仕様書【土木工事編】（日本水道協会）」「埼玉県土木工事実務要覧」を優先として適用するものとする。

ただし、出来形管理等の検査基準については、表記図書のほかに「草加市工事検査基準」、「草加市工事検査実施要領」を適用し、これを最優先とする。また、「埼玉県土木工事実務要覧」に規定されている項目について、草加市水道事業が定めたものについては、それを最優先とする。

なお、不明な点が生じた場合は、契約に基づく協議等により施工するものとする。

2　不当要求行為の排除

受注者は、草加市政における公正な職務執行の確保に関する条例（平成１９年条例第１６号）第６条及び草加市が締結する契約からの暴力団排除措置要綱（平成８年告示第１５５号）第９条の規定に基づき、次の事項を遵守しなければならない。

⑴　受注者及び受注者の下請業者が、暴力団等から不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、市長に報告するとともに、所轄の警察署に届けること。

⑵　受注者は、市及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。

3　個人情報の保護に関する法律等の遵守

受注者は、「個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号）」を遵守すること。また、業務上知り得た事項を漏らしてはならない。

4　彩の国建設リサイクル実施指針の遵守

受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

5　工事実績情報システム（CORINS）への登録

受注者は、受注時又は変更時において請負代金額が５００万円以上の工事について、工事実績情報システム（CORINS）に基づき、受注、変更、完成及び訂正時に工事実績情報として「登録のための確認の

工 事 仕 様 書

お願い」を作成し、監督員の確認を受けた上、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、完成時は完成後（工事完成検査合格後）、土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、訂正時は速やかに（一財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

登録対象は、工事請負代金額５００万円以上の全ての工事とし、受注、変更、完成及び訂正時にそれぞれ登録するものとする。ただし、単価契約の場合は、完成時に請負代金額の総額が５００万円以上の工事を対象とし、竣工登録を行うものとする。また、（一財）日本建設情報総合センター発行の登録内容確認書が受注者に届いた場合は、その写しを直ちに担当監督員に提出しなければならない。

なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

6　現場代理人の兼任について

現場代理人の兼任については、「草加市公共工事に係る現場代理人の常駐業務緩和措置について」による。

7　主任技術者の兼任について

主任技術者の兼任については、「草加市建設工事における技術者の専任に係る取扱要領」による。

8　必要書類の提出

受注者は、「埼玉県土木工事実務要覧」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」等に規定されている書類やその他監督員が指示する書類を速やかに提出しなければならない。なお、提出の際は、「埼玉県土木工事実務要覧」に掲載する様式等を準用するなどして使用するものとする。また、草加市環境マネジメントシステムに基づく取組に協力するものとする。

9　建設廃棄物、建設発生土等の処理計画書の提出

受注者は、現場着手前に建設廃棄物、建設発生土等の処理計画書を提出すること。

なお、建設廃棄物の処分に当たり、受注者は、処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画書に添付しなければならない。また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画書に添付しなければならない。

工 事 仕 様 書

10　建設発生土の搬出について

受注者は、１００㎥以上の建設発生土を草加市外に搬出する場合は、搬出前に搬出先市町村の担当窓口宛てに、搬出先市町村が定めた様式による「建設発生土搬出のお知らせ」を郵送、ＦＡＸ等で提出し、その写しを施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。

11　境界資料

受注者は、発注者に対し、工事に係る境界の資料を求めるものとする。

12　既存杭の保全

受注者は、工事の施工に当たり、境界杭、民杭を含めた全ての既存杭の保全について、責任を負わなければならない。

なお、民杭を撤去復旧等する場合は、地権者に立会いを求め、責任をもって行うものとする。

13　境界杭の確認

境界杭の確認等については、次のとおり実施するものとする。

なお、既存杭に影響のない工事については、対象としないものとする。

⑴　工事着手前

受注者は、既存杭の確認を行い、写真、図面等で測量成果簿を作成し、提出するものとする。

⑵　構造物（側溝等）施工後

受注者は、施工した構造物等と既存杭又は仮杭との位置の確認を行い、写真、図面等で測量成果簿を作成し、提出するものとする。

⑶　工事完了後

受注者は、施工した構造物等と既存杭又は仮杭との位置の確認を行い、写真、図面等で測量成果簿を作成し、提出するものとする。

14　工事作業時間

工事作業時間は、通常午前９時００分から午後５時００分までとし、前後３０分間は準備・後片付けの時間とする。

なお、道路使用許可時間以外に作業をすることが予想される場合は、事前に監督員と協議し、警察及

工 事 仕 様 書

び関係住民に連絡すること。ただし、道路工事等協議書により時間帯が指定されている場合は、当該協議書を優先するものとする。

15　安全訓練等の実施

受注者は、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、現場に即した安全教育・訓練等を実施するものとする。

なお、実施内容については、次の項目を参考とする。

⑴　安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育

⑵　工事内容等の周知徹底

⑶　土木工事安全施工技術指針等の周知徹底

⑷　災害対策訓練

⑸　現場で予測される事故の対応訓練

⑹　その他、安全、訓練等として必要な事項

16　安全訓練等の計画

受注者は、工事内容に即した安全教育、訓練等の具体的な計画を作成し、施工計画書に明記するものとする。

17　占用物付近での施工

受注者は、地下埋設物及び架空線付近を施工する際には、必ず管理者の立会いを求め、指示を仰ぐとともに、十分注意して施工しなければならない。

18　局地的な大雨に対する工事等安全対策

受注者は、以下の⑴から⑷までの内容について、安全管理計画を明記した施工計画書等を作成し、発注者の確認を得るとともに、その内容について作業員への周知徹底を図ること。また、補完する情報として、「局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き（案）（平成２０年１０月　局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策検討委員会）」に準じるものとする。

⑴　現場特性の事前把握

受注者は、作業現場付近の浸水被害、既往事故、ハザードマップ等の資料を基に、作業現場の状況

工 事 仕 様 書

を把握すること。

⑵　工事等の中止、再開基準の設定

受注者は、標準的な中止基準を踏まえ、現場特性に応じた工事箇所ごとの中止基準を設定すること。

また、工事等開始後に気象情報や気象状況の変化により大雨の予兆を捉えた場合には、中止基準に至る前の時点においても、これらの中止基準を補完する情報を活用し、工事等の中止判断を的確に行うこと。工事等の開始に当たっては、中止基準に抵触せず、当該作業現場の安全が十分確保されていることを確認すること。また、工事等の中止及び再開を行った場合には、監督員にその旨連絡すること。

なお、標準的な中止基準とは、当該工事等箇所又は上流部に洪水又は大雨の注意報又は警報が発表された場合のことをいう。

⑶　迅速に退避するための対応

⑷　日々の安全管理の徹底

19　舗装版切断時に発生する濁水の処理

舗装版切断工（バキューム式）を行う場合には、別添の「舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書」によるものとする。

20　再生砂の使用

再生砂を使用する工種がある場合は、使用に先立って、六価クロム溶出試験を１購入先当たり１検体の頻度で実施し、試験結果（計量証明書）を材料使用前に監督員へ提出するものとする。使用予定の再生砂が環境基準に適合しない結果となった場合は、別の購入先を選定し、同様の試験を行い、適合した材料を使用するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

21　工事標示板

受注者は、草加市指定（色、形状、寸法及びイラスト）の工事標示板を使用するとともに、請負金額、工事請負単価（原則１ｍあるいは１㎡当たり）、緊急連絡先、道路使用許可証の写し等を明示しなければならない。また、工事標示板、工事予告板、規制標識等の路上工事看板は、歩行者等の安全を考え、

工 事 仕 様 書

緩衝材（ソフトカバー）を取り付けるものとする。

22　協議書

受注者は、工事の施工について協議を必要とする事項が生じた場合は、指定の「協議書」を使用するものとする。

23　工事区間内にあるごみ集積所の対応

受注者は、工事に伴う車両通行止め等により、工事区間内にあるごみ集積所のごみが未回収とならないよう、当該集積所に集められたごみを工事区間外へ移さなければならない。

なお、移動位置等については、監督員の指示を受けるものとする。

24　交通誘導警備員

受注者は、交通に支障となる箇所には、現場の実状や施工方法により、これに対応する交通誘導警備員を配置しなければならない。また、交通誘導警備員は、道路使用許可書の写しを携帯しなければならない。

25　民地内の施工

受注者は、民地内を施工する際には、監督員、地権者等の承諾を得てから着工しなければならない。

26　構造物等が越境した場合の是正

施工した構造物等が越境している場合については、受注者は、発注者が定めた期限までに是正するものとする。

27　請負代金額の変更

草加市建設工事請負契約約款第１９条及び第２５条で規定する請負代金額の変更協議については、設計図書の訂正又は変更に伴う変更工事価格に落札率を乗じた額を原則として行うものとする。

28　工事の中止について

草加市建設工事請負契約約款第２０条等に定める、工事の全部又は一部の一時中止をする場合、受注

工 事 仕 様 書

者は、発注者の定める様式で必要書類を提出すること。また、工事中止期間中は受注者の責務において工事用地等の安全を確保するものとする。

29　特定建設作業について

受注者は「騒音規制法」、「振動規制法」、「草加市公害を防止し市民の環境を確保する条例」に定められた特定建設作業を実施する場合においては、監督員に報告を行い、該当する特定建設作業の開始７日前までに法令及び条例で定められた事項を記載して市長（草加市環境課）に届出を行うこととする。また、その写しを監督員に提出するものとする。

30　人権の尊重について

受注者は、工事の実施に際して人権を尊重するとともに、工事に関わる者が人権に配慮することができるよう努めること。

31　使用機械及び仮設について

使用機械の機種・規格、施工方法、仮設及び安全対策等は特記仕様書で定めのある場合を除き、受注者側の責任において任意で定め施工すること。

32　工事抑制の取組について

受注者は、「埼玉県内工事の一斉休工の取組」や「行楽期、年末・年始期間における道路工事等の抑制」等、国及び県が実施している工事抑制の取組に努めること。

33　遠隔臨場の目的及び活用について

遠隔臨場とは、受注者間における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、ウェアラブルカメラ等による映像と音声の双方向通信を使用して「段階確認」、「材料確認」及び「立会」等をおこなうものである。

なお、実施に当たっては、埼玉県県土整備部・都市整備部『建設工事の遠隔臨場実施要領』に基づくものとするが、本工事は受注者希望型として発注する。

特 記 仕 様 書

［水道特記］

1　配水管技能者の配置

受注者は、ダクタイル鋳鉄管及び配水用ポリエチレン管の工事着手に先立ち、配水管技能者の技能者登録証等の写しを提出すること。配水管技能者は、主に管の芯出し、据付け接合及び融着を行うものとし、配管作業中は、常に配水管技能者登録証等を携帯し、配水管技能者であることが識別できるようにすること。なお、配水管技能者とは、発注者が認めた配水管技能者、日本水道協会及び日本ダクタイル鉄管協会の配水管技能登録者（一般登録・耐震登録・大口径）、配水用ポリエチレンパイプシステム協会の配管技能登録者又はそれと同等以上の技能を有する者をいう。

2　エアーバック止水工

エアーバック止水工を施工する場合は、エアーバック技能講習修了者により施工すること。

3　切管端部の補修

切管端部の補修については、ＧＸ形ダクタイル鋳鉄管用管端防食キャップを使用すること。

キャップ設置後は、全ての工事記録を管理し、工事の完成における提出書類として提出すること。

また、防食キャップを使用しない管端部については、担当監督員の指示に従い施工すること。

4　排水工

排水工の排水口は、既存のグレーチング蓋の有る箇所に設置することを標準とする。なお、設置が不可能な場合は監督員と協議すること。

5　分水替工

交差点（十字路や丁字路等、二つ以上の道が交わる場所）付近における給水管の分岐について、交差点手前に設置されている仕切弁より交差点内側で給水管を分岐しないこと。なお、路線状況（複数の交差点が近接している等）が複雑な場合は、監督員に確認の上、施工するものとする。

配水管を穿孔する際は、各サドル付分水栓及び各配水管に適応している穿孔機を使用し、密着コアを挿入する際は、全箇所の施工状況及び完了状況を記録すること。なお、完了状況については、密着コアが管内に設置されている状況を写真にて記録するものとする。

給水管の施工範囲については、所有者の承諾を得て次のとおり施工するものとする。

特 記 仕 様 書

⑴　接続管がポリエチレン管及びＨＩ管の場合は、ボールバルブ（メーター手前の止水栓）への接続まで行うものとする。なお、ボールバルブへの接続が困難な場合は止水栓までの設置を原則とする。

⑵　既設給水管所有者等から民地内の施工承諾が得られない場合は、官地での接続とするものとする。

⑶　給水管は水道用ポリエチレン二層管又は配水用ポリエチレン管とする。

⑷　その他、分水替工に関しては草加市給水工事施工基準に準じ、変更が生じる際には監督員と協議するものとする。

なお、施工範囲について所有者と協議した記録を提出するものとし、詳細については監督員より指示するものとする。

共同管の仕切弁を布設する際は、ダクタイル鉄管用ポリエチレンスリーブ施工要領と同様、ポリエチレンスリーブを被覆し、基礎（底板コンクリート）上に設置すること。

6　水道材料

工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を規定された物を除き日本産業規格（ＪＩＳ）、日本水道協会規格（ＪＷＷＡ）又は草加市が認証する水道用材料を使用しなければならない。

7　工事用材料

工事用材料は、使用前にその品質、寸法について監督員の検査を受け合格した材料を使用する。

8　境界杭

工事に当たっては、事前に境界杭（基準点含む）の確認を行うものとする。

なお、境界杭の復元が必要な場合は、埼玉県測量作業共通仕様書及び埼玉県公共測量作業規程に基づき、専門知識を有する者（測量士・測量士補）が行うものとする。また、民杭を撤去等する場合は、事前に地権者に立会いを求め、その後は、責任を持って復元するものとする。

9　注意事項

分水替については、本管の洗管完了後に監督員が行う水圧検査及び水質検査を受け、草加市が定める基準に合格した後に施工するものとする。

10　仕切弁操作

特 記 仕 様 書

受注者の判断で、仕切弁操作を行わないこと。ただし、緊急時又は監督員からの指示があった場合はこの限りではない。

11　試掘工

試掘については行わないものとし、必要に応じて別途監督員と協議するものとする。

12　工事中の路面の段差

工事で路面に段差が生じた場合は、通行上の支障とならないよう速やかに擦りつけ等を行うとともに標識、路面標示等の設置により通行者に対し周知するものとする。

13　仮区画線工

舗装復旧等の施工により区画線が消滅した場合は、交通解放前に仮区画線を設置するものとする。

14　区画線工

区画線工がある場合は、埼玉県道路標示設置要領に基づくものとする。なお、設計上に疑義が生じた場合は、埼玉県警察本部交通規制課の指示事項を確認の上、施工するものとする。

15　納品

受注者は、工事の完成における提出書類に下記の物を併せて提出するものとする。

⑴　産業廃棄物管理表（マニフェスト）Ｅ票の写し（検査時は原本持参とする。）

⑵　建設発生土の受入証明（原本）、他法令等の許可証写し

⑶　再資源化等報告書

⑷　その他（担当監督員の指示による）

16　電子成果品

電子成果品は「草加市電子納品運用ガイドライン」に基づき作成し、データを格納した電子媒体（ＣＤ－Ｒ）を正、副各１部提出する。なお、電子成果品によらないものは、従来どおり紙で納品する。

特 記 仕 様 書

17　提出書類

受注者は、工事の完成において次の提出書類を２部提出するものとする。

⑴　出来形数量総括表

⑵　完成図（本管、分水替、撤去）

⑶　仕切弁台帳

⑷　舗装復旧、区画線出来形図

⑸　その他

なお、⑵については、工事完成検査後に一部、製本せずに提出すること。

18　既設給水管

既設給水管については、原則撤去するものとする。

なお、撤去不可能と思われる給水管については、担当監督員と協議するものとする。

19　草加市地元企業優先発注等に係る実施方針

工事の施工に伴い、下請業者（協力業者）を選定する場合においては、市内業者を優先的に選定するよう努めるものとする。また、建設用資材の購入や建設機械の借入等をする際においても、市内業者を優先的に選定するよう努めるものとする。

20　工事作業時間

工事作業時間は、夜間工事の場合、午後９時００分から午前５時００分までとし、前後３０分間は準備・後片付けの時間とする。

なお、道路使用許可時間以外に作業をすることが予想される場合は、事前に監督員と協議し、警察及び関係住民に連絡すること。ただし、道路工事等協議書により時間帯が指定されている場合は、当該協議書を優先するものとする。

21　配水用ポリエチレン管施工時の厳守事項

受注者は以下の⑴から⑹までの内容及び施工方法について、施工計画書を作成し、その内容について作業員への周知徹底を図ること。また補完する情報として、「水道配水用ポリエチレン管及び管継手施工マニュアル　維持管理マニュアル(配水用ポリエチレンパイプシステム協会)」に準じるものとする。

特 記 仕 様 書

⑴　降雨時のＥＦ接合の原則禁止

やむを得ず接合させる場合は、接合部(管及び継手)、コントローラー及び発電機等の電源部が漏れないように措置をした後、十分注意して作業すること。

⑵　外気温が－10℃以下又は40℃以上の場合は作業中止

⑶　管融着面の切削、清掃の徹底

管の接合面を必ず専用のスクレーパーを用いて切削し、接合直前に清掃を行うこと。

⑷　融着中に異常警報が出た継手の使用禁止

融着接合中(コントローラー通電中)に異常警報が発生した継手は、いかなる場合があっても使用しないこと。発生した場合は管を切削し、新規切断面でやり直すこと。

⑸　配管時の生曲げ原則禁止

配水用ポリエチレン管の直管施工時における受注者判断での生曲げは原則禁止とする。

⑹　仕切弁のポリエチレンスリーブの被覆

仕切弁を布設する際は、ダクタイル鉄管用ポリエチレンスリーブ施工要領と同様、ポリエチレンスリーブを被覆し、基礎（底板コンクリート）上に設置すること。なお、被覆状況、設置状況、完了状況等は写真にて記録すること。

22　EF継手チェックシート及びEF継手接合用コントローラーデータの提出

EF継手チェックシートは、EF継手の全箇所を提出すること。EF継手接合用コントローラーのデータについては監督員の求めに応じて提出するものとする。

23　PC・PV・PP・VCジョイント施工時の厳守事項

各製品の仕様書及び取扱説明書を基に、十分に注意して施工すること。

24　応急給水栓

市内小中学校については指定避難所に指定されていることから、避難時の水利用を目的とした応急給水栓及び表示看板を設置すること。設置場所等は担当監督員と協議するものとする。

25　関連工事との調整

本工事と関わる関連工事とは施工箇所、日程等を事前に調整して安全に工事を実施すること。

特 記 仕 様 書

26　工時抑制期間

国県道が定める工事抑制期間については遵守すること。

27　飲食店等への配慮

工事区間にある飲食店等については営業の支障にならないよう配慮すること。（来客者の出入り、納品車両等）

28　側溝の撤去再利用

側溝下に配管する箇所が存在する場合について、側溝は配管完了後に即日復旧を原則とすること。ただし、即日復旧が困難である場合は担当監督員と協議の上、復旧方法又は施工方法を決定する。

29　増圧ポンプ利用施設

利用施設の断水が必要な場合は事前に監督員、管理会社等と調整を行い、専門の業者立会いの下、断水作業及び施工すること。施工方法については必要に応じて担当監督員と協議すること。

30　既設配水管

既設配水管については、原則撤去するものとする。

なお、撤去不可能と思われる配水管については、担当監督員と協議するものとする。

31　洗管

洗管作業は、発注者が主体的に行うものとするが、発注者が協力を求める場合は、受注者は発注者に協力すること。内容については必要に応じて監督員と協議すること。

32　水圧試験

本管布設後に受注者は、発注者立会いの下、水圧試験を受けること。水圧試験の準備は、受注者が行うものとするが、試験機器の準備については、必要に応じて別途監督員と協議すること。

33　他企業管について

他企業埋設管（供給管を含む）状況を確認してから施工すること。

特 記 仕 様 書

なお、他企業埋設管と近接しているのが確認された場合には、受注者が他企業埋設管の既存の状態、新設管布設後との離隔状況を工事写真等にて記録し報告をすること。内容については別途監督員と協議すること。

34　建設発生土の処分について

建設発生土は、土質改良プラントへの指定処分とする。

搬出を想定している施設は以下のとおりであるが、別の施設を選定する場合には、事前に監督員の承認を得ること。

搬出先

土質改良プラント　草加市長栄１－６３０－１、㈱埼玉車輌　改良土プラント

35　再生源利用計画書等の提出及び掲示について

施工計画作成時に「再生資源利用計画書」「再生資源利用促進計画書」及び「工事登録証明書」、完了時に「再生資源利用実施所」「再生資源利用促進実施書」及び「工事登録証明書」を提出することとする。また、「再生資源利用計画書」「再生資源利用促進計画書」は工事現場の公衆が見やすい場所に掲示することとする。

36　スクラップの有価物処理に関わる書類について

スクラップを有価物として処理する場合は、施工計画書作成時に処理計画として処理先の資料及び運搬経路図、完成書類に処理数量が記載された計量証明等を提出すること。

37　ダクタイル鋳鉄管や仕切弁の防食について

ダクタイル鋳鉄管や仕切弁の設置後は、埋設土壌と管や仕切弁との直接の接触を断つことにより管や仕切弁の防食を行うため、ダクタイル鉄管用ポリエチレンスリーブ施工要領書に基づき、適正にポリエチレンスリーブを巻くこと。また、配水用ポリエチレン管の仕切弁についてもダクタイル鋳鉄管の仕切弁と同様に被覆すること。なお、被覆後に写真撮影を行い、適正に施工していることが確認できるようにすること。

38　熱中症対策について

特 記 仕 様 書

熱中症対策に資する現場管理費補正の施行対象工事である。試行の実施は、埼玉県県土整備部「熱中症対策に資する現場管理費の補正の施行について」によるものとする。試行内容は、埼玉県ホームページで確認のこと。

埼玉県ホームページ　技術管理例規集ページ参照

https://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/doboku-gijutu-reikisyu.html

39　交通誘導警備員について

交通誘導警備員については、道路使用許可書の指導事項に準じ、その配置について担当監督員と協議すること。

なお、配置人数については３人配置（交代要員を含む）を標準としているが、現場の諸条件による変動が生じる場合は、事前に担当監督員と協議すること。

40　週休２日制工事モデルについて

本工事は、「週休２日制モデル工事（現場閉所型・完全週休２日）」の試行対象工事である。試行の実施については『埼玉県企業局「週休２日制モデル工事」試行要領（令和７年１０月１日公告以降）』によるものとする。試行要領は、埼玉県企業局財務課ホームページで確認のこと。

埼玉県企業局財務課ホームページ

https://www.pref.saitama.lg.jp/c1302/kikyoku-zaimu-nyuusatureiki.html

41　工期について

本工事の工期（雨天、猛暑日及び休日等含む）については、９０日間を見込んでいる。

なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏季休暇のほか、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

⑴　工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。また、雨休率（休日、天候及び猛暑による作業不能日を見込むための係数）については、「土木工事標準積算基準書」工事参考資料編第４章『工期の算定』による。

・準備工期間　３０日間

・後片付け、検査準備期間　３４日間

特 記 仕 様 書

・その他特記事項　特記仕様書40の理由により、１４日間

⑵　著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は工期の延長（工事一時中止等）について協議することができる。

42　消火栓工

補修弁設置後、埋戻しを行う前に必ず不断水割T字管の止水バルブを全開とし、止水バルブの開栓状況が分かる工事写真を提出すること。また、止水バルブの全開が確認できた後、補修弁を開き通水確認を行い、通水状況が分かる工事写真を提出すること。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

1　趣旨

この特記仕様書は、埼玉県（建築・電気設備・機械設備）工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

2　適用

この特記仕様書は、次の工事に適用するものとする。

⑴　工 事 名　整備事業第８－２号　消火栓設置工事

⑵　工事箇所　草加市　旭町二・六丁目　地内

3　濁水の処理

受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

⑴　種類及び処理量　　汚泥（油分を含む汚泥）０．０３㎥

⑵　中間処理施設　　①北葛飾郡松伏町ゆめみ野東地内、東武商事（株）

②北葛飾郡松伏町田島東地内、東武商事（株）

③三郷市上口地内、（株）三栄興業

④吉川市中井地内、木幡興業（株）

⑶　処理方法　　中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず。）

なお、受注者が別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

4　共通事項

受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

5　提出書類等

受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した産業廃棄物収集運搬委託契約書の写し及び許可証の写しを添付するものとする。

受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。

6　その他

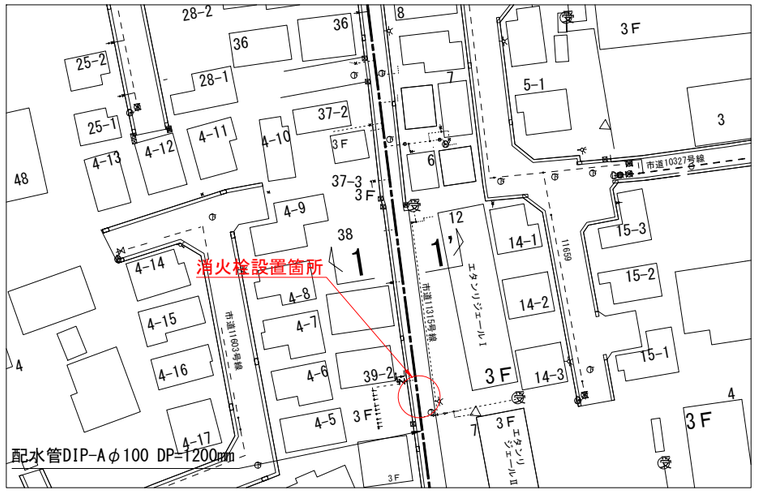
濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

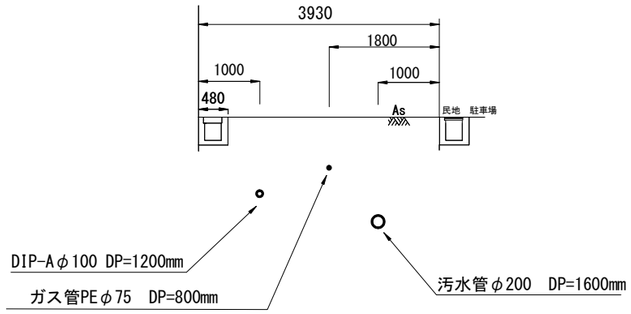
平　面　図 S=1:500(A1) S=1:1000(A3)

草加市旭町六丁目地内

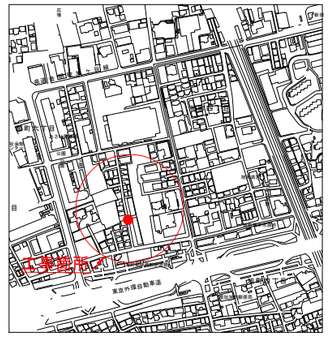


断　面　図 S=1:50(A1) S=1:100(A3)

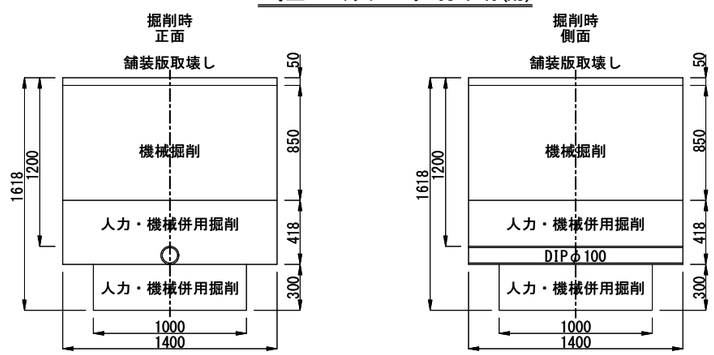
1－1'



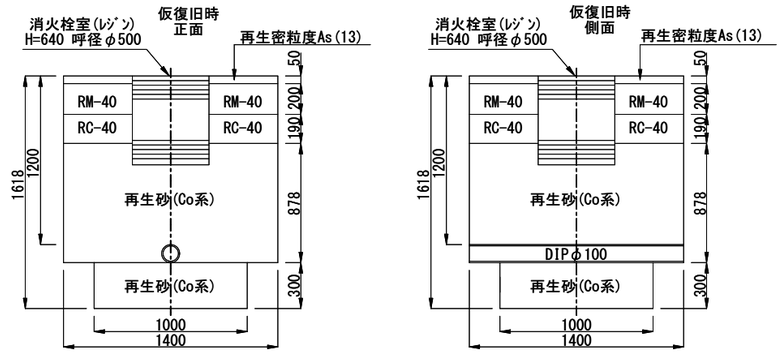
位　置　図

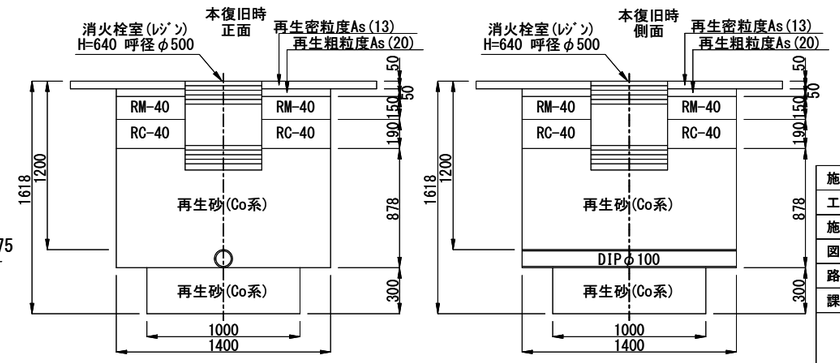


組　成　図 S=1:20(A1) S=1:40(A3)

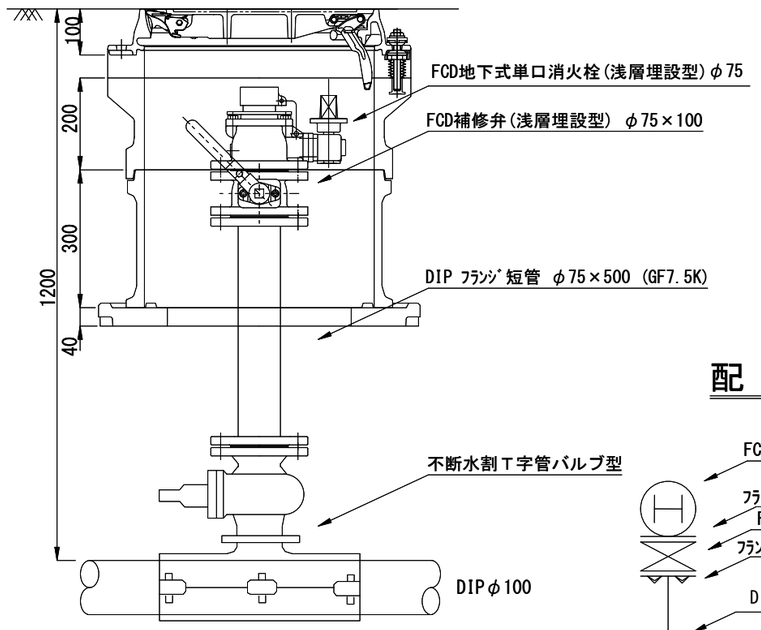


※土工時、山留使用

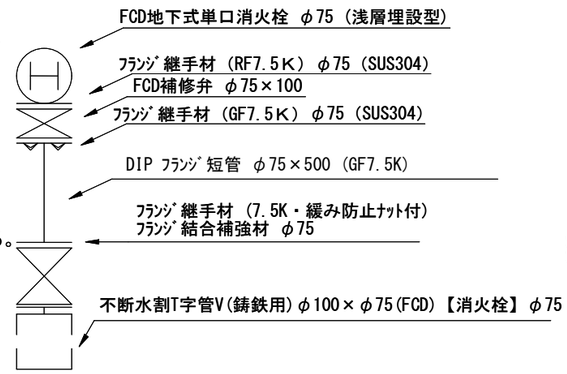




消火栓構造図　S=Free



配　管　図　S=Free



特記

1　消火栓天端と地盤面 (GL)間の寸法は、150mm以上250mm以下とする。

2　割丁字管・フランジ短管は、防食フィルム等で被覆すること。

3　補修弁は消火栓室内に設置する。

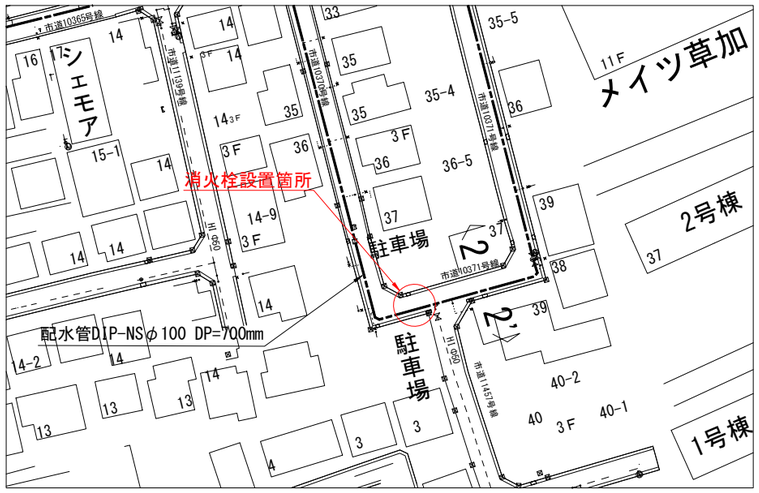
4　開栓器の設置に支障がないようにマンホールを設置すること。

施工年度	令和8年度				
工事名	整備事業第8-2号　消火栓設置工事				
施工場所	草加市旭町二・六丁目地内				
図面名称	平面図、断面図、消火栓構造図、配管図、組成図			縮尺	図示
路線名	市道11315号線　他1路線			図面番号	1/2
課長	課長補佐	係長	設計	照合	

草加市上下水道部

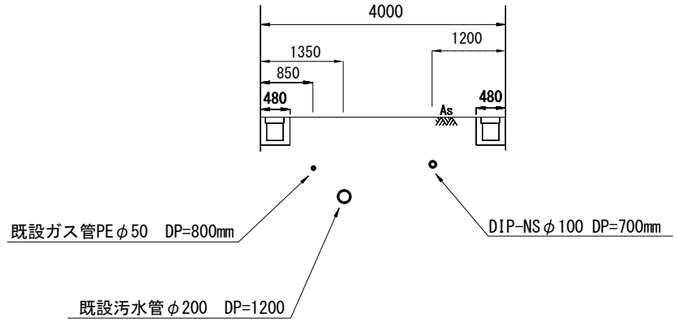
平　面　図 S=1:500(A1) S=1:1000(A3)

草加市旭町二丁目地内



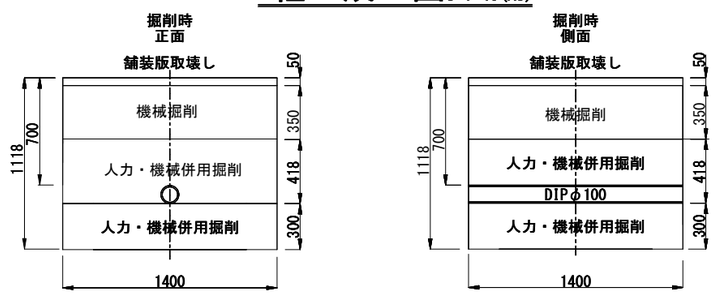
断　面　図 S=1:50(A1) S=1:100(A3)

2－2'

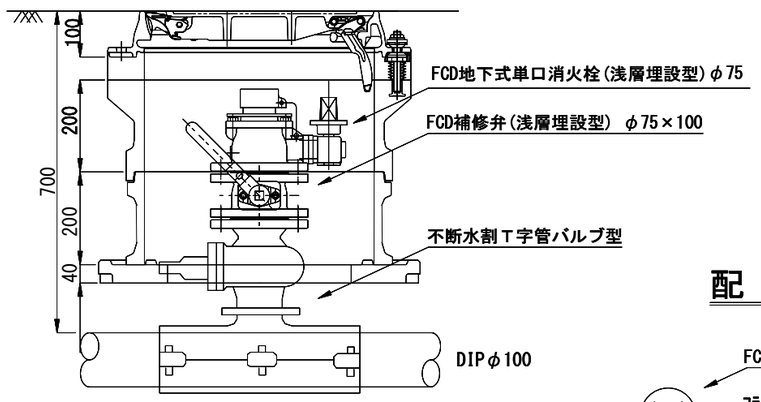


位　置　図

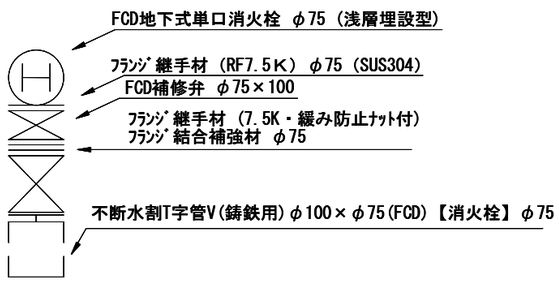
組　成　図 S=1:20(A1) S=1:40(A3)

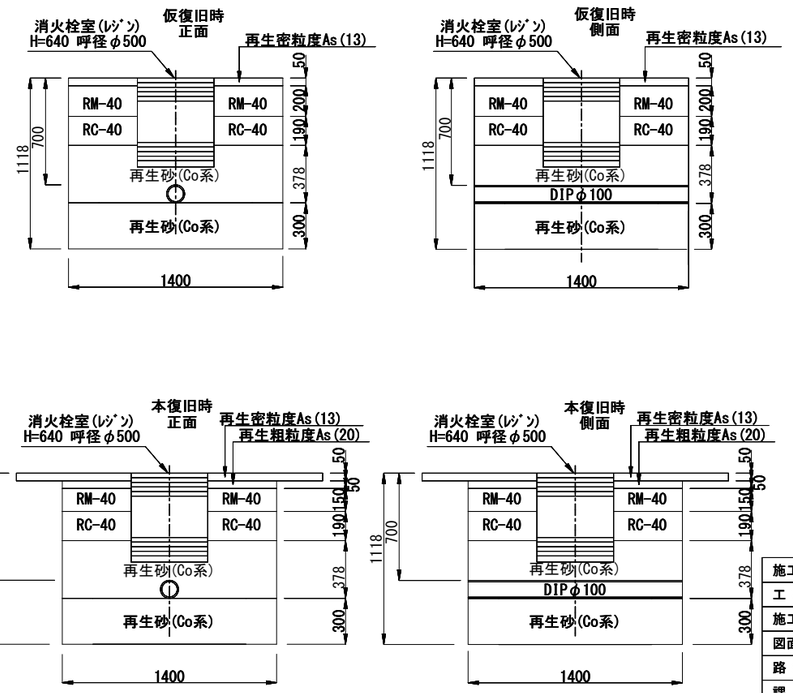


消火栓構造図　S=Free



配　管　図　S=Free





特記

1　消火栓天端と地盤面（GL)間の寸法は、150mm以上250mm以下とする。

2　割丁字管・フランジ短管は、防食フィルム等で被覆すること。

3　補修弁は消火栓室内に設置する。

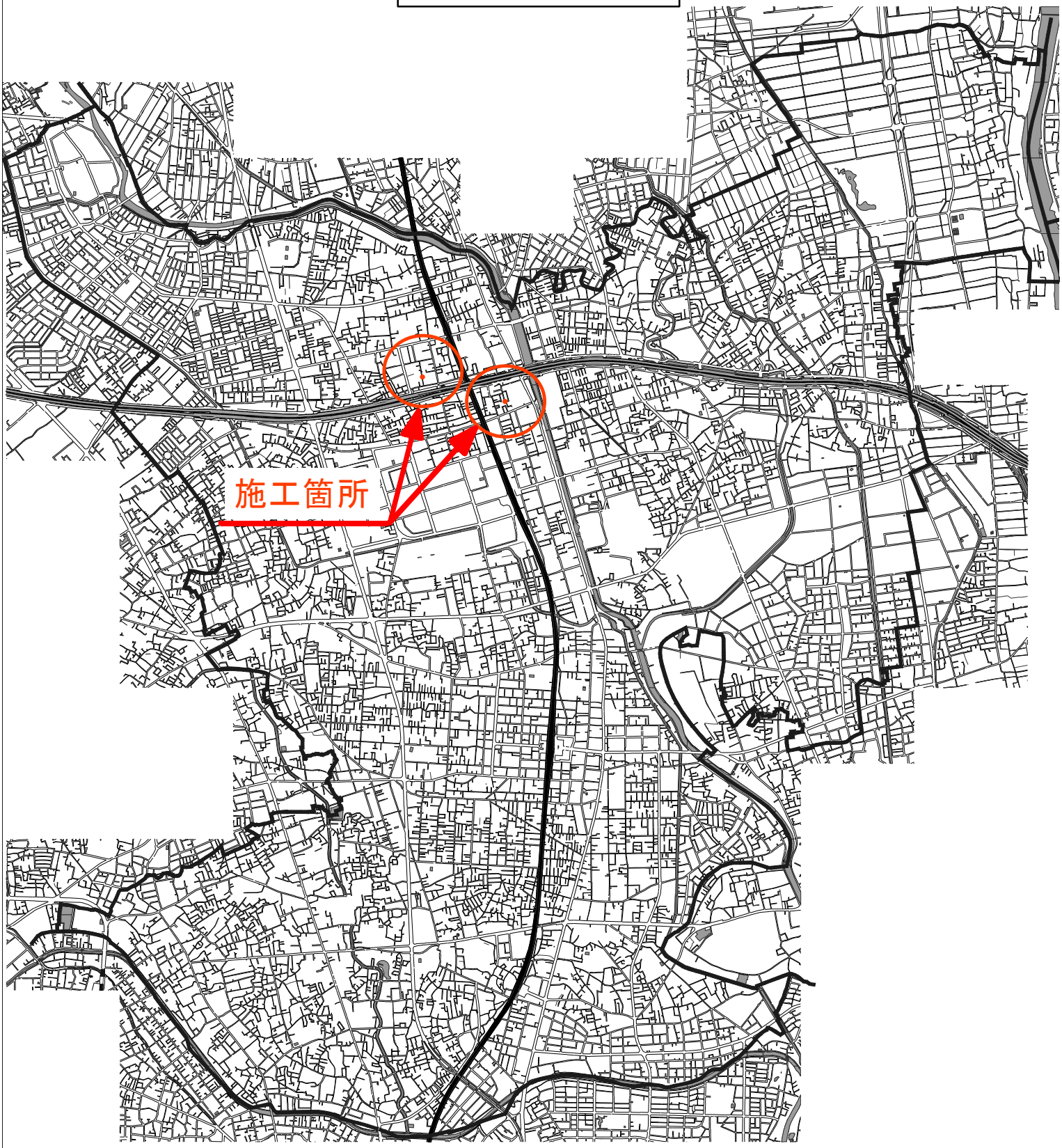
4　開栓器の設置に支障がないようにマンホールを設置すること。

施工年度	令和8年度				
工事名	整備事業第8-2号　消火栓設置工事				
施工場所	草加市旭町二・六丁目地内				
図面名称	平面図、断面図、消火栓構造図、配管図、組成図			縮尺	図示
路線名	市道11315号線　他1路線			図面番号	2/2
課長	課長補佐	係長	設計	照合	

草加市上下水道部

草　加　市

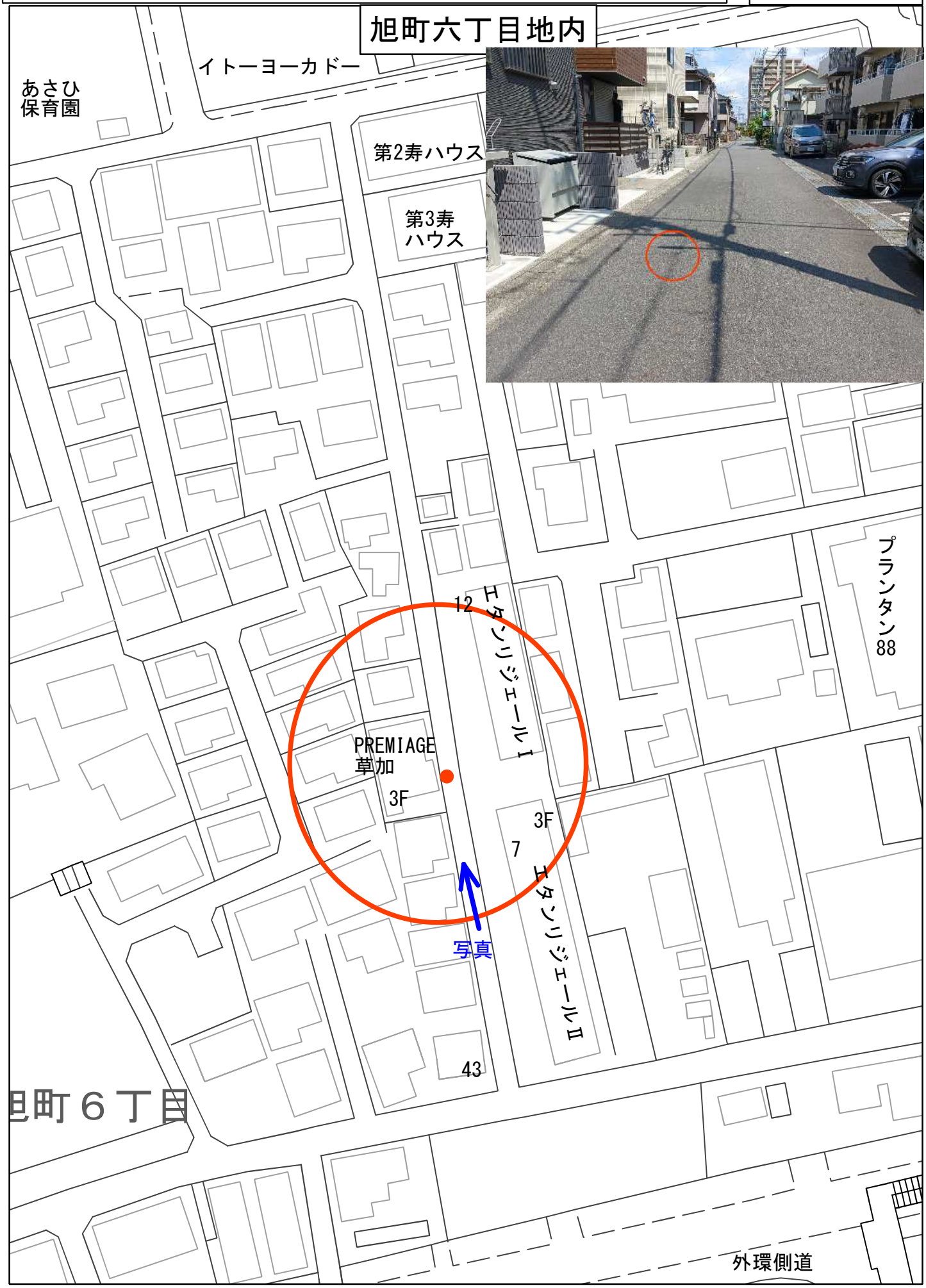
位　置　図



整備事業第8-2号　消火栓設置工事
草加市　旭町二・六丁目　地内

整備事業第8-2号　消火栓設置工事

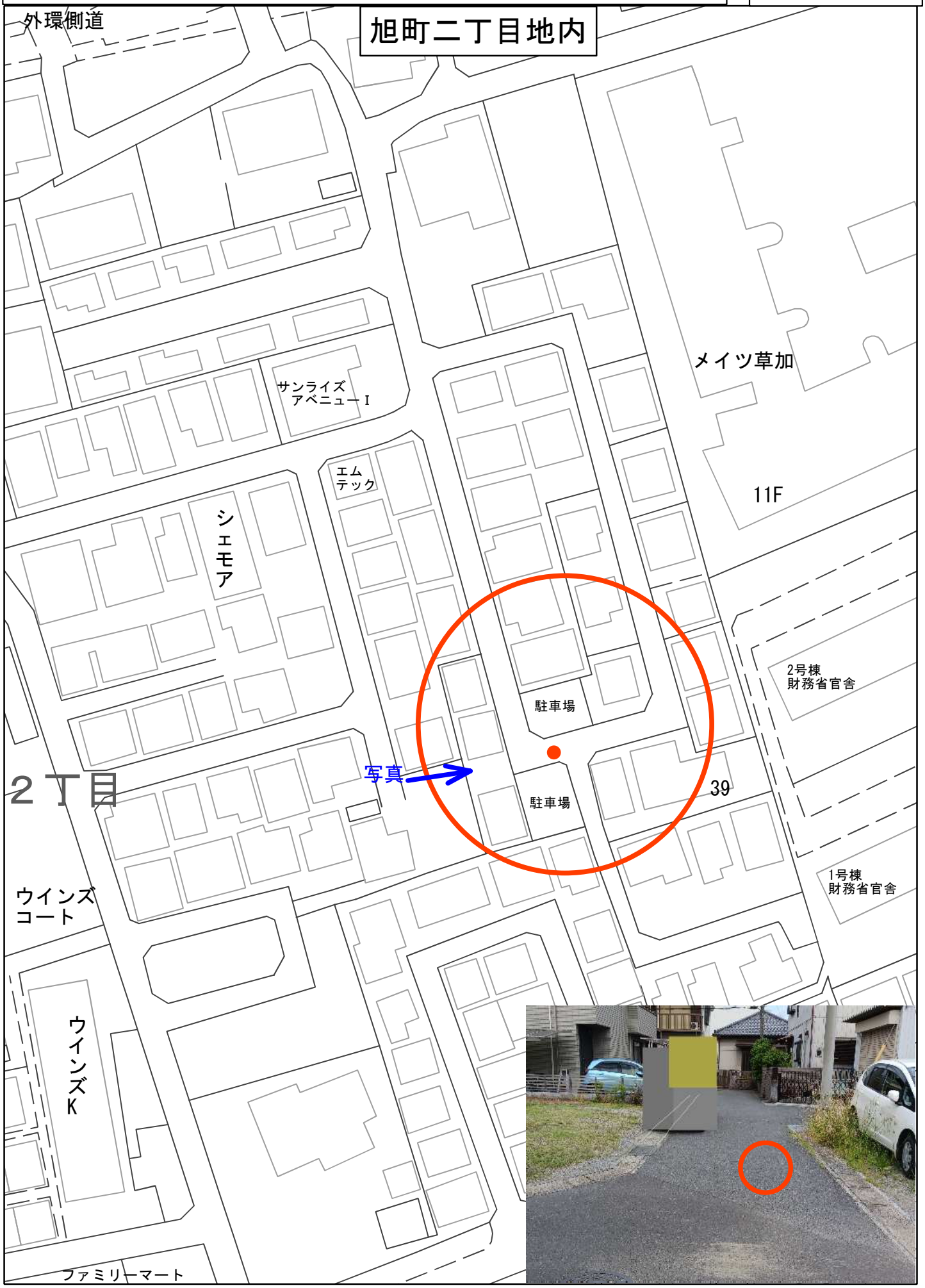
案内図



1:800

整備事業第8-2号　消火栓設置工事

案内図



1:800

積 算 参 考 資 料

この「積算参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資すための資料であり、草加市建設工事請負契約約款第1条にいう設計図書ではない。したがって、「積算参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「積算参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

※補足
・本工事の積算においては、「建設物価」と「積算資料」は電子版を採用している。
・資材単価一覧表において「単価0円」と記載されている資材がある場合、その資材は積算の都合上単価を0円として計上しているものである。

◎	経費適用年度 ※水道施設整備費に係る歩掛表	令和7年度
◎	経費適用年度 ※土木工事に係る歩掛表	令和7年度
◎	経費の補正	モデル工事（現場閉所型） 完全週休2日
◎	施工地域区分	大都市
◎	単価適用年月	令和8年9月

草加市　上下水道部　水道工務課

整備事業第8-2号 消火栓設置工事

1. 積算数量一覧表（数量・日数等に係るもの）

工事区分	工種	細別	規格	単位	数量 （資材数量）	摘要
消火栓設置工事	仮設工	軽量鋼矢板	Ⅱ型（t=5） L=2000	枚	10	（参考） 1回使用 補助工法無しの係数を適用
			賃貸重量	t	0.296	
			賃料日数	日	1	
		アルミ腹起	70-80*115-130 L=2000	本	2	（参考） 1回使用 最低保証期間適用（実供用日数1日）
			賃料日数	日	30	
		アルミ切梁	770-1300	本	2	（参考） 1回使用 最低保証期間適用（実供用日数1日）
			賃料日数	日	30	
		水圧ポンプ		台	1	（参考） 1回使用 最低保証期間適用（実供用日数1日）
			賃料日数	日	30	
	仮設工	水替工	水替え日数	日	2	（参考）作業時排水
	交通誘導警備員	交通誘導警備員	B（昼間）	人	12	（参考）

※摘要欄に使用回数が記載されている資材の賃料計算に注意のこと。
　⇒使用回数＝着工から完成までに使用する回数
　⇒数量（資材数量）については、実搬入数量（転用する資材数量）を記載している。

2. 管材費対象の資材等について
　積算上の管材費対象の資材については、仕様書の明細書等において、「明細単価番号・基準」欄に、『管』と記載されている資材を対象としている。
　なお、同欄に記載の『支』は支給品、『処』は処分費、『諸×』は全経費対象外を表している。

3. 物価資料（「建設物価」、「積算資料」）による単価決定について
　単価の決定は、物価資料（「建設物価」、「積算資料」）に掲載されている実勢価格を平均し、単価の有効桁の大きい方の桁を決定額の有効桁とする。ただし、大きい方の有効桁が3桁未満のときは、決定額の有効桁は3桁とする。また、一方の資料しか掲載のないものについては、その価格とする。（経費適用年度の「水道施設整備費に係る歩掛表」の記載事項を適用）
　また、物価資料に掲載の材料単位が「本」単位などで、「m」単位などに換算する場合は、掲載されている単位（本など）で上記のとおり単価決定後、別の単位（mなど）に換算し、換算後の値はそのままの値を用いるものとする。
　なお、小数点以下は、上記有効桁等に係わらず切り捨てとする。（左記のみ埼玉県の「土木工事設計単価表」の記載事項を一部適用）

資材単価一覧表

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	資材単価　根拠
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材 (RF7.5K) φ75(SUS304)		組	6,432		見積等
DIP ﾌﾗﾝｼﾞ短管 φ75×500 (7.5K)		個			建設物価・積算資料
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材 (GF7.5K) φ75(SUS304)		組	6,035		見積等
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(7.5K･緩み防止ﾅｯﾄ付) ﾌﾗﾝｼﾞ結合補強具φ75		組	19,000		見積等
FCD地下式単口消火栓(浅層埋設型) φ75・ﾎﾞｰﾙ式		基	133,800		見積等
FCD補修弁(浅層埋設型) φ75×100・ﾎﾞｰﾙ式		基	119,037		見積等
SUS製密着ｺｱ φ75		個	12,070		見積等
ﾚｼﾞｺﾝ消火栓室用鉄蓋 食込制御型 T-25		組	99,400		見積等
ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ(高さ調整対応型) A-200 φ500		個	41,000		見積等

整備事業第8-2号　消火栓設置工事

資材単価一覧表

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	資材単価　根拠
ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ(高さ調整対応型) C-200　φ500		個	20,100		見積等
ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ(高さ調整対応型) C-300　φ500		個	25,500		見積等
底板(高さ調整対応型ﾚｼﾞﾝﾌﾞﾛｯｸ用) 40S　φ500		個	23,200		見積等
高さ調整用ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ M16×L=75(高さ調整駒含)		組	4,560		見積等
無収縮ﾓﾙﾀﾙ 25kg袋		袋			建設物価・積算資料
消火栓室用型枠		回	985		見積等
不断水割T字管 V(鋳鉄用) φ100×φ75(FCD)		組	199,730		見積等
SUS製密着ｺｱ挿入費 φ75		箇所	30,000		見積等
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ100		m			建設物価・積算資料
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ用　固定ﾊﾞﾝﾄﾞ φ100		個			建設物価・積算資料
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生粗粒度AS混合物(20)、小口		t			建設物価(小口)
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度AS混合物(13)、小口		t			建設物価(小口)

草加市

資材単価一覧表

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	資材単価　根拠
不断水穿孔機損料 φ75		日	6,440		見積等